

採用コスト&教育コスト
すべてゼロにしませんか？

＼採用と育成に力を入れたい企業が絶対に取り組むべき／

助成金活用型人材育成

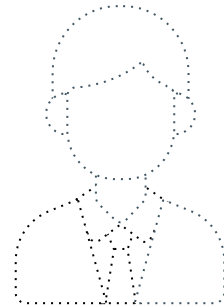
ダウンロードはこちら >

採用と育成に力を入れたい企業が
絶対に活用すべき助成金 の内容と
活用方法を丁寧にお伝えします

第1章	採用コストと育成コストの現状.....	3
第2章	人材育成に活用できる助成金.....	5
第3章	助成金を申請する際の注意点.....	7
第4章	助成金申請サポート体制のご紹介.....	8

2019年度の1年間の全産業の離職率は**14.6**%
産業別では**20**%を超える産業もあります

また新卒者の3年以内の離職率も
3人に**1**人と高い状況です



辞めてもまた
採用すればいい？

出典：厚生労働省 新規卒者の離職状況より「学歴別卒業後3年以内離職率の推移(19年)」

第1章 採用コストと育成コストの現状

4

新卒 1人あたり

72.6万円



中途 1人あたり

84.8万円

上記は採用コストの平均です

もちろん、ハローワーク等で求人募集を行えば
より低コストでの採用が可能です

しかし、即戦力となる人材の採用を目指すとして
民間の求人媒体を利用した場合 **理論年収の1/3程度** の
紹介料が発生します

出典:リクルート 就職白書2019

相場は
15万円～**30**万円
前後



育成コストに代表される教育研修にあたる
外部講師による研修

社内の育成者の時間やスキルを要さず
新入社員のモチベーションを上げながら
教育が可能



社内の人件費等のコストは削減できるが
質の高い研修の**費用は高額**

※全日(6時間前後)の研修1回あたり 出典:アイミツ <https://imitsu.jp/cost/training/>

かけた採用コストを無駄にしない ためには
離職率を下げる必要があります

新入社員の定着率を向上させるために
育成に力を入れようとすればするほど
育成コストの負担が大きく なっていきます



NEXT▶▶

助成金でこの採用コストと育成コストを
すべてゼロにできる!?

そもそも助成金とは？



雇用保険が財源



裁定制度を採用



計3000種類以上 ある

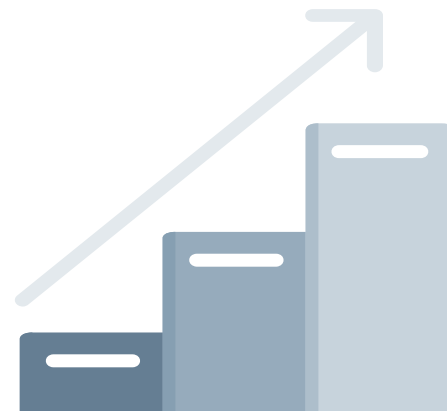
厚労省管轄の**雇用対策制度**
従業員を雇入れ、教育・定着させている全ての企業が
受け取る権利を持っている ものです

知らなかったから・手間だからと
活用していないのは**非常にもったいない！**

数ある助成金の中から
併用して活用可能な2つの助成金を
組み合わせてお使いいただくことを推進しています



人材開発支援助成金



キャリアアップ助成金

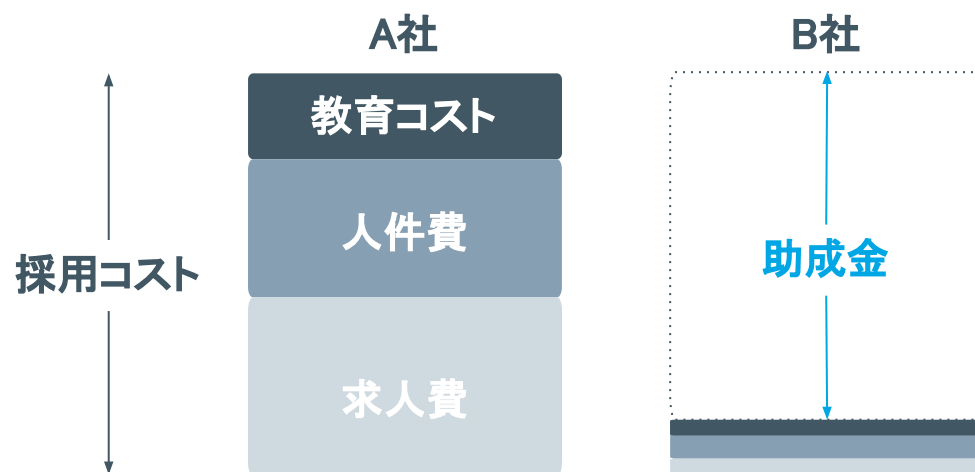
人材開発支援 助成金

訓練期間中の
賃金助成約**17万円**/1訓練
外部研修費の
経費助成上限**30万円**

キャリアアップ 助成金

正規雇用化で**80万円**/1人
人材開発支援助成金の
訓練終了後の
正規雇用化で**9.5万円**/1人

2つの助成金を組み合わせると
お一人あたり約**130万円**助成されます



助成金未活用のA社と活用しているB社を比較すると
同じ採用コストをかけているのにも関わらず
B社は**そのほとんどを助成金で補うことができます**

さらにB社はコスト削減ができたことで以前より
社員の育成に力を入れ優秀な人材をどんどん育てています
また、福利厚生も充実させ**社員の定着率も上がった**そうです

メリットの大きい助成金ですが
申請には**気をつけないといけない**
ポイントが**3**つあります



1. 申請期限

育成や雇用に関する助成金は
申請期限が存在します



従業員一人ひとりの**入社日から**
申請時期を管理ができず
申請もれになってしまう

2. 書式&要件変更



申請書類は必ず**新しい様式**での提出が必要だが、**書式の変更**が毎年少なからず1回多い時は4,5回あります

また、年度の途中であっても制度の内容が変わる場合がありますが
変更の案内は役所から来ない
(一部の助成金を除く)

▼
去年までは申請できていた助成金の
対象にならず書類作成の時間と労力だけが奪われることに

3. 書類不備



申請書類は**少しの不備も受理不可**
提出書類の差し替えも
不正受給防止の観点より
原則認められません



正しい知識を身につけずに安易に
申請をすると**想定受給額より大幅に減額**
さらには**不支給**になってしまうケースもあります

助成金の申請の流れ



労働局への
計画届提出



訓練&育成
実施



労働局への
申請届提出



助成金の
受給

助成金の申請手続き

これまで15年間4,000件以上の実績で「煩わしい」「難しい」手続きを代行

アフターフォロー

申請手続き後の調整や国とのやり取りも最後まで責任をもって実施

弊社独自のサポートシステム

事業にコミットした研修プログラム

お客様の課題をヒアリングし
オーダーメイドの研修をご提供

コンサルティング

育成に関しての今後のビジョンや貴社の
課題解決の全力でコミット

★自社申請による申請漏れや申請不備の**心配が不要**になります

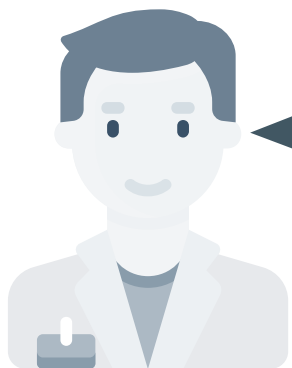
★申請代行費用は完全成功報酬(助成額の**15%**)

助成金を自社で申請されていたA社様



もともと顧問社労士に確認しながら自社で申請を行っていましたが、期限内に書類提出ができなかったり、作った書類が集まらなかったりで、毎年予定よりかなり減額されていました。今回貴社とご縁をいただき、初めからやりたかったクリエイターの内製化と合わせて、助成金申請をお願いしました。おかげさまでこの2年で0名→8名までクリエイターを育成する事ができ、100万円～200万円程度の受給状況から、**今年度は1500万円程度の助成金を受給**する事ができました。

研修制度が確立されていなかったB社様



弊社では会社規模の拡大に合わせて研修制度の確立と研修費用を助成金で補填する手法を検討していましたが、助成金手続きが煩わしすぎて諦めていました。

そんな時に貴社ご紹介いただき、煩雑な部分を請け負ってくれるのなら是非とご依頼をさせていただきました。

研修制度については当社の課題をお伝えしたところ、「貴社の課題に合わせてこんな研修はいかがですか」と的確な研修提案をいただき、役員会議で稟議を上げて実施の運びになりました。

その翌年から実施しておりますが、数年かけて導入後の**社員の離職率を約10%下げる事ができて**います。同時に**助成金も毎年数千万円受給**できているので、採用～育成のコストに充てる事で大幅に経費削減に繋がっています。

今後も制度が続く限りお願いするつもりです。

助成金活用によって
採用コスト・育成コストの削減
積極的な採用活動・質の高い教育 が
可能になります

貴社のさらなる**成長・拡大**
教育のアップデート に貢献できると幸いです

会社概要

会 社 名 : Next HUB株式会社

所 在 地 : 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島
4丁目2-21ミツフ新御堂筋ビル10F

代表 電話 : 06-7662-7302

設 立 : 2014年7月

代表取締役 : 檜原 洋平